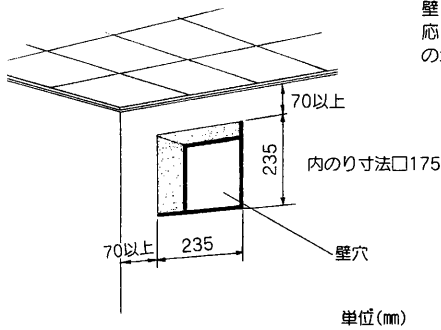


壁穴工事・電気工事

販売店・工事店さま用

壁穴・木枠の寸法



壁穴の寸法は木枠の厚さに
応じ異なりますが板厚30mm
の場合左図の寸法となります。

木枠作りのポイント

板厚30mm以上で室外側下部に約5°の傾斜をつける…雨水浸入防止
木枠内のり寸法が小さい木枠に取付けると本体が変形したり、シャ
ッターが動作しないことがあります。

壁穴位置

天井、壁から70mm以上離す。

電気工事

- 専用コンセントを換気扇の近くに設けてください。
- 埋込コンセントの取付ボックスは、JIS C8336に規定の市販品を利用してください。

取付方法

1 フィルター・スピナー・羽根・パネルをはずす

(EX-15LH-BL、EX-15KHにはフィルターがありません)

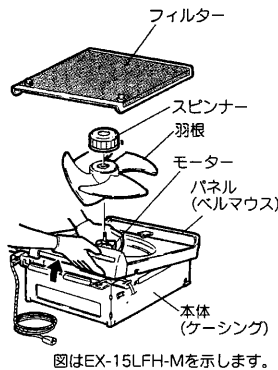
- パネルはフィルター・スピナー・羽根をはずしてからモーターを押さえてパネルのコーナー部分を持ち上げてはずす。

注意

- 取付けの際は手袋を着用する
けがの恐れがあります

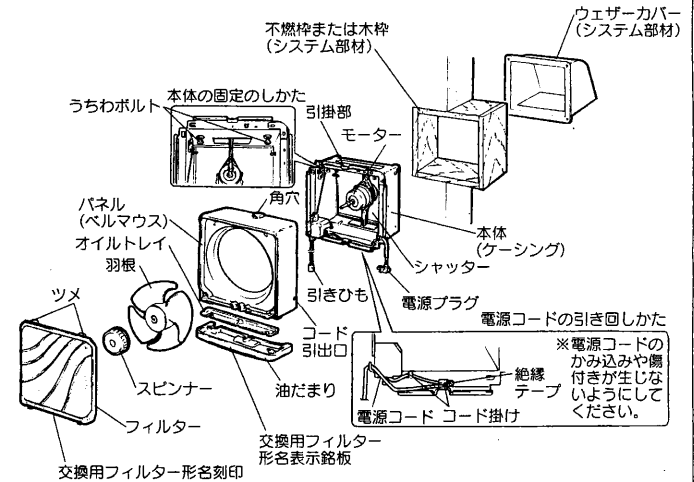
お願い

シャッターを開いたまま床などに置かないで
ください。



図はEX-15LFH-Mを示します。

※図はEX-15LF₂を示します。



2 本体を取付ける

- 「うちわボルト」2本で確実に固定する。または市販の木ネジで上下左右4か所固定する。

3 コンセントの位置に合わせ電源コード引出口を決める

- (1)左部に引出す場合はコード掛けより電源コードをはずす。
- (2)電源コードのたるみが、羽根・パネルに当たらないよう、コード掛けをおこして巻き付ける。

4 パネル・羽根・スピナーを取付ける

- (1)パネルは角穴を本体の引掛部にはめ込み「パチン」と音がするまで下側を押さえる。
- (2)羽根は切欠部(○)を合わせてモーター軸に挿入する。
- (3)スピナーは「シマル」の方向にまわし、羽根に当たるまで締め付ける。
- (4)フィルターをパネルに取付ける。(EX-15LH-BL、EX-15KHにはフィルターはありません)

EX-15LF₂の場合のみ

5 油だまり・フィルターを取付ける

- (1)油だまりの両側を差し込んで中央部分を「パチン」と音がするまで押さえる。
- (2)フィルターは上部のツメを差し込み、下部をはめ込む。

取付後の確認

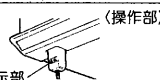

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表に従って点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。
(機能が発揮されないばかりか、安全が確保できません)

取付工事			試運転		
チェック項目	不具合の対策	チェック	チェック項目	不具合の対策	チェック
電源は100Vですか？	100Vに直します。 (異電圧を印加すると製品が破損します)		(引きひもスイッチタイプの場合) 引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します。	
本体の取付け強度は十分ですか？	うちわボルトまたは木ネジで確実に固定します。		羽根当たり音がしていませんか？	パネルをはずして配線の処理、部品の取付けを直します。	
パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します。		シャッターが正常に作動していますか？	シャッターの変形、部品の取付けを直します。	

使用方法

■運転操作

引きひもを引くごとに「入」←「切」します。

運転開始	運転停止
引きひもを引きます。  (操作部) 運転表示部	引きひもを引きます。  (操作部)

お願い

- スプレー（殺虫用・整髪用・掃除用など）をかけない。パネルの破損・変質の原因となります。
- 引きひもはまっすぐ下に引っばる。斜めに引っばりますとスイッチが故障する原因になります。（引きひも）

お手入れのしかた

換気扇が汚れてきましたら約3か月に1度を目安として、次の順序で清掃してください。

⚠警告

- お手入れの際は必ず電源プラグコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電やけがをすることがあります。

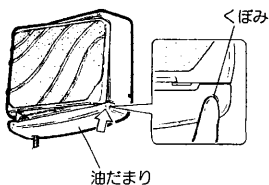
⚠注意

- お手入れの際は手袋を着用する。けがの恐れがあります。

フィルターの交換

■EX-15LF₂の場合
フィルターが汚れてきましたら、新しいフィルター（システム部材）P-15XF₂と交換してください。

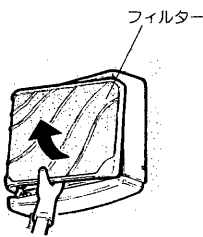
- 1 油だまりの左右のくぼみのどちらかを押す



お願い

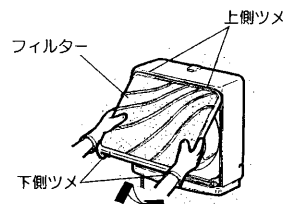
両方のくぼみを同時に押さないでください。（フィルターが落ちることがあります）

- 2 フィルターをはずす



- 3 新しいフィルターを取付ける

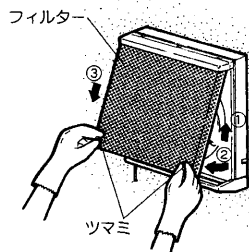
上側のツメ（2か所）を差し込み下側のツメ（2か所）を確実にはめ込む。



フィルターのお手入れ

■EX-15LFH-Mの場合

- 1 フィルターをパネルよりはらずツマミを持ちいったん押し上げ、手前に引っ張る。



- 2 フィルターガードを下側のツメからはらずして取りはずす

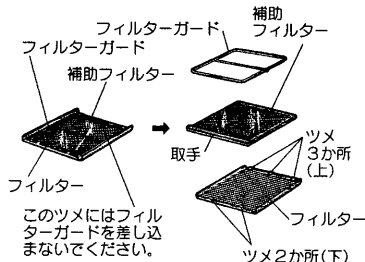
- 3 補助フィルターの取手を持ってツメからはらず

- 4 フィルターと補助フィルターはお湯を流しながらタワシなどで洗う

お願い

補助フィルターは、変形しやすい物ですから、ていねいに取扱ってください。

- 5 水分をふき取り乾燥させ、取りはずすと逆の順序で組立て取付ける

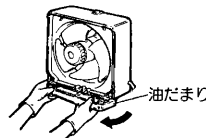


このツメにはフィルターガードを差し込まないでください。

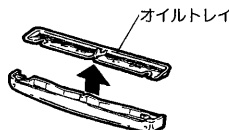
オイルトレイの交換

■EX-15LF₂の場合
油だまりの中にオイルトレイがあります。

- 1 油だまりの両横を持って片方を手前に引きはずす
油がこぼれることがありますので傾けないでください

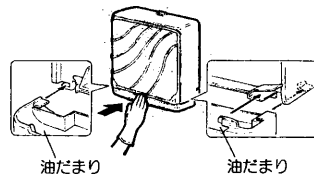


- 2 オイルトレイを傾けず取りはずし、捨てる



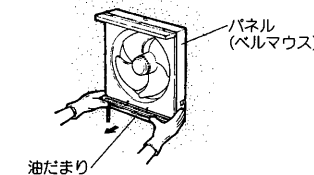
—約6か月に一度を目安に交換—

- 3 新しいオイルトレイを入れ、油だまりを取付ける
油だまりの両側を差し込んで中央部分を「パチン」と音がするまで押してください。



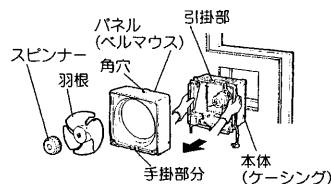
■EX-15LH-BL, EX15KH, EX-15LFH-Mの場合

- 油だまりの両端を持ってかたむけないように手前へ引き出します。
- 取り付けるときは油だまりに、かたむきやすき間のないよう確実に取付けてください。



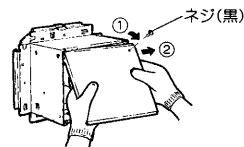
（図はEX-15LFH-Mを示します）

換気扇を取りはずして清掃する場合



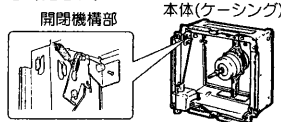
分解のしかた

1. スピンナーを「コルム」の方向に回し、羽根をはずす。
2. パネルの手掛け部分を手前に引いてはずし、上部引掛部よりはらず。
3. うちわボルトをゆるめて本体を木枠からはらず。
4. 右上のネジ（黒）をはずし、図のように引っ張ってはらず。



お願い

開閉機構部は分解時にはずれないようにご注意ください。



- お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤（プラスチックの変質、変色、割れの原因になります）
- シャッターを開いたまま床などに置かないでください。

清掃のしかた

中性洗剤 を使用して汚れを取る。

- パネル、油だまり、羽根、スピナー、シャッターは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗いよく乾燥させる。
- 本体は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

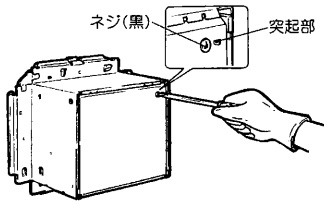
お手入れのしかた つづき

お手入れ後の組立てと確認

お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立てる。

■シャッターの組立ては次の要領で行う。

- シャッター取付板の突起部にシャッターの角穴をはめ込みネジ（黒）を締め付ける。



■部品の落下や故障を防ぐため次の点検をしながら組立てる。

1. 電源コードに傷はないか？
2. シャッターの開閉がスムーズにできるか？
3. 本体、羽根、スピナー、パネル、油だまりが確実に取付けられているか？

お願い

- パネルを軽く引っ張ってはずれないことを確認してください。
- 油だまりはかたむきやすき間のないよう確実に取付けてください。

4. 電源を入れ換気扇の運転に異常がないか確認する。

故障かな？と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検をしても直らない場合、また下記以外の現象が生じた場合は、必ず分電盤ブレーカーを切って（電源プラグを抜いて）からお買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検してください
運転しない	本体に通電されていますか？	●分電盤ブレーカーを点検します ●停電ではありませんか？
運転中に異常な音がる	パネル、羽根が確実に取付けられていますか？	取付け直します
シャッターが正常に動作しない	本体、シャッターが変形していませんか？ 開閉機構の部品がはずれていませんか？	販売店または工事店へ確認します 取付け直します

アフターサービス

三菱換気扇のアフターサービスは、お買上げの販売店がお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。

性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。また、優良住宅部品（BL）についてはその後4年間、補修用同種部品または交換可能な同種部品などを供給します。

■優良住宅部品（BL）について…（EX-15LH-BLのみ）

この換気扇は（財）ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。

優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、3年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	羽根、ケーシング、ベルマウス (ただし、モーター等電動機構部品、スイッチを除く)
------	---

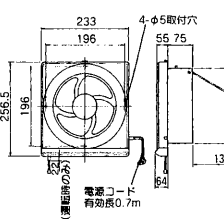
ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1. 住宅用途以外で使用した場合の不具合
2. ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3. メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合
4. 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の不具合
5. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6. わずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7. 火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8. 消耗品の消耗に起因する不具合
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

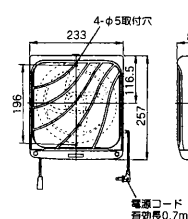
仕様

外形寸法図

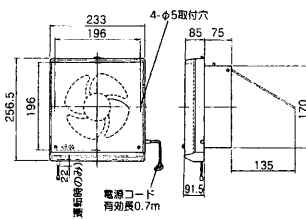
LH-BL・KHタイプ



LF₂タイプ



LFH-Mタイプ



単位(mm)

仕様表

形名	総排	消費電力(W)		風量(m ³ /h)		騒音(dB)		質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
EX-15LH-BL	排	15	19	420	450	42.5	44.5	1.7
EX-15KH	排	10.5	12.5	336	342	37.5	38	1.7
EX-15LFH-M	排	10.5	12.5	282	288	38.5	39	1.9
EX-15LF ₂	排	10.5	12.5	282	288	38.5	39	1.8

※測定方法はJIS C 9603による。

愛情点検



☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- こげ臭いにおいがする。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼される時便利です。

形名	
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店名 (住所) (電話番号)	()

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。[材質名は主材料にISO規定の略号を使用]



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。